



News Letter

センター長よりご挨拶

この度は、第15回「ドナーファミリーの集い[®]」ならびにチャリティーマラソン「ラン・フォー・ビジョン[®]」にご協力、御参加頂き、厚く御礼申し上げます。

目の愛護デーにちなんで、平成10年10月10日に開始いたしました、「ドナーファミリーの集い[®]」も、お陰様で15年目を迎えました。

ご提供者とご家族の皆様にご敬意を表し、更には、角膜移植により視力を回復された患者様や手術に係った医師・看護師、サポーターが一堂に会し、視力の大切さを皆様に認識して頂き、また、アイバンクについて知って頂くために開催させて頂いております。

このように、第15回目の記念すべき会を、皆様とともに、視力の大切さに触れ、また楽しいひと時を過ごすことができましたこと、そして、これまで長く本会を支えてくださった多くの皆様に心より感謝申し上げます。

参加者は、ドナーファミリーの集いに190名、また午後の部のチャリティーマラソン大会「ラン・フォー・ビジョン[®]」には、27名の視覚障害者と、伴走を務めてくれた来春の箱根大学駅伝に出場するシード校の選手10名を含むランナー350名、また100名を超えるボランティアも合わせて、計500名を超えるご参加を頂きました。

2010年7月に臓器移植法が改正されたこともあり、より一層、角膜移植医療について知って頂き、また、ご献眼についてご家族の皆様でお話し頂くきっかけ作りとなれば、有意義であると考えております。



厚生労働省
加賀山 成久様



ライオンズクラブ
国際協会 330-A 地区
ガバナー 阿久津 隆文様



島崎 潤先生



司会 木幡 美子様

第15回 『ドナーファミリーの集い[®]』 アイバンク チャリティーマラソン 『ラン・フォー・ビジョン[®]』

〔目次〕

センター長より	1 ページ
ドナーファミリーの集い	2 ページ
児童劇団大きな夢	3 ページ
作品展	
ラン・フォー・ビジョン	
メディカルサポート	
御協力者の方々	4 ページ
編集後記	

October 2012

ドナーファミリーの集い® <KDDI ホール>



当アイバンクには、これまでに『697名』の方がご献眼くださっております。今年もドナーファミリーの集い®において、ドナー様のご冥福をお祈りし、ドナーファミリーの方々の勇気あるご決断に、心より感謝の気持ちをお伝えしました。

今年で第15回を迎えるドナーファミリーの集い®には、角膜を御提供頂きましたご家族の方達をはじめ、角膜移植をされた患者様、医療従事者、そしてこのアイバンク活動を支えて下さっている御協賛社、ライオンズクラブの皆様、総勢190名の方々にご出席頂きました。



富田 大輔先生



東京麻布ライオンズクラブ
森谷 智子様

今年は、書道家の金敷駿房先生をお招きし、素晴らしいお話と力強い揮毫を御披露頂きました。

その中でも、「心の響」という作品には、「皆様の心が響きあい、繋がりが今後も大きく発展することを祈って」という意味が含まれており、とても感慨深く素敵な作品でした。



書道家 かなしき しんぼう
金敷 駿房先生

作品展



ご提供者やそのご家族に感謝の気持ちを伝えようと、今年も素晴らしい作品が届けられました。どの作品も光を取り戻し、創作することの喜びが伝わる作品でした。

ご出展いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

児童劇団「おおきな夢」



毎年、児童劇団「大きな夢」の子供たちは、愛らしい笑顔と美しい歌声を届けてくださいます。今年も「千の風になって」を合唱する子供たちの優しい歌声が会場を包み、参加者の心をつないでくれました。

ラン・フォー・ビジョン® <千鳥ヶ淵公園>



午後の部のラン・フォー・ビジョン®においては、早朝よりボランティアおよびご協賛社の方々にお手伝いをいただきました。天気予報とは裏腹に、小雨が降ったりやんだりのあいにくの空模様でしたが、気温 18℃、ランナーのみなさまにとっては好条件の中、14:30 にライオンズクラブ国際協会 330-A 地区ガバナー、阿久津隆文様による号砲で総勢 350 名がスタートを切りました。

今大会も関東学生陸上競技連盟のご協力を賜り、10 名の選手に視覚障害ランナーの伴走をお願いしました。箱根駅伝への出場を控えた学生の皆様に、社会貢献活動の一環としてご参加いただけます事に深く感謝申し上げます。

沿道においては、東京視覚障害者ランニングクラブのみなさまの走路監察により、ランナー及び歩行者の皆様の安全確保ができました。また、計測工房のご協力により、ICチップによる計測で迅速に完走記録証を発行することができました。視覚障害ランナーの方には、日本点字図書館のみなさまのご厚意により、同時に点訳の完走記録証を発行しております。

また、本大会はチャリティーマラソンですので、みなさまからいただきましたご浄財は、主催共催を合わせた 10 のアイバンク・組織バンクの活動推進のために役立たせていただきます。参加者をはじめ、15 年の永きにわたりサポートをして下さっているみなさまに心より御礼を申し上げますとともに、これからも、一人でも多くの角膜移植を待つ方に光をお届けできるよう一層努力して参ります。



ランイベント・ランナー様
ランニングカンパニー
代表取締役 デビッド・R・スミス様



メディカルサポート

本大会では、医師 1 名、救急救命士 6 名、救命士養成学生 5 名、総勢 12 名編成の
国士舘大学ウェルネスリサーチセンターの

「モバイル AED 隊」の方々による沿道救護を、
大会本部の千鳥ヶ淵公園では、東京歯科大学
市川総合病院の看護師 2 名の方に救護テント
での待機をお願いしました。

メディカルサポートの皆様のご協力により、
ランナーのみなさまが安心して走りきるこ
とができました。



本大会の開催を支えてくださった、参加者の皆様をはじめ、下記団体・ご協賛社・共催バンク・そして東京歯科大学市川総合病院眼科の皆様に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

【後援】

厚生労働省、日本角膜学会、日本再生医療学会、日本抗加齢医学会、東京都眼科医会、東京麻布ライオンズクラブ、行徳ライオンズクラブ、市川パインツリーライオンズクラブ、東京視覚障害者ランニングクラブ、日本点字図書館、(公財)日本テレビ小鳩文化事業団、(社)日本臓器移植ネットワーク

【協力】

関東学生陸上競技連盟、NPO 日本盲人マラソン協会、児童劇団「大きな夢」、(協)日本俳優連合、国士舘大学ウェルネスリサーチセンター

【協賛】

ACUVUE、SUNCREST、熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会、参天製薬(株)、(株)シード、(株)日本アルトマーク、ノバルティスファーマ(株)、(株)ハーバー・マネジメント、ファイザー(株)、(株)ホワイトメディカル、(株)メディプロデュース、(株)フカガワ、医療法人社団 慶翔会 新宿眼科クリニック、アステラス製薬(株)、(株)エスアールエル、(株)オグラ、興和(株)、千寿製薬(株)、日本アルコン(株)、(株)日本ルミナス、MSD(株)、南青山アイクリニック、熊本眼科医院、(株)メディカル葵出版、ワシエスメディカル(株)、HOYA(株)、(株)イナミ、(株)コーナン・メディカル、富田商事(株)、わかもと製薬(株)、(株)薬研社、(株)アールテック・ウエノ、大塚製薬(株)、キリンビバレッジ(株)、T.Y.EXPRESS(株)、(株)ドール、(株)フォーシーズ、ライオン(株)、(株)日本テレソフト

【共催】

慶應義塾大学病院眼球銀行、(公財)静岡県アイバンク、(財)北海道アイバンク、(公財)山形県アイバンク、(公財)兵庫アイバンク、(財)熊本県角膜・腎臓バンク協会、読売アイバンク、一般社団法人日本スキンバンクネットワーク、杏林アイバンク、(財)福井県アイバンク



東京視覚障害者ランニングクラブ
会長
岩井 貞夫様



News Letter

第3巻 第1号

発効日 2012/11/6

角膜センター

〒272-8513

千葉県市川市菅野 5-11-13

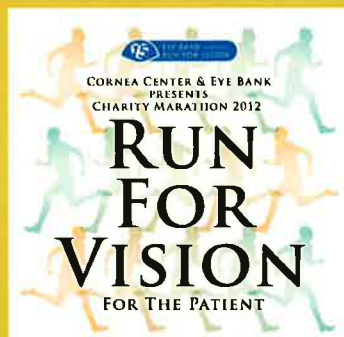
東京歯科大学市川総合病院

電話:(047)324-5800

FAX:(047)324-8590

当センターは、角膜移植を中心とした医療・研究を通じて視力の保護・改善を目的として活動しております。「患者さんのために」をモットーにアイバンク事業、角膜移植センター、研究事業などを行っております。

URL: <http://www.eyebank.or.jp/>



お知らせ

第16回「ドナーファミリーの集い®」

「ラン・フォー・ビジョン®」

2013年10月13日(日)開催決定

詳細は2013年4月にホームページにてご案内いたします。

今年は15周年記念大会という事で、

皆様お気づきかと思いますが、上のようなデザインのポスターと15周年のロゴを作成しました。

今後も、皆様の心が繋がる場を御提供できるよう、スタッフ一同尽力していく所存でございます。